

小泉悠さんと読み解く 【世界の軍事戦略】



講師

東京大学先端科学技術研究センター准教授
先端研・創発戦略研究オープンラボ
(ROLES)副代表

小泉悠 Kozumi Yu

【ハイブリッド】丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。

大国が企図する「新しい戦争」を読み解き、未来の世界情勢を占う

ウクライナ戦争、イスラエルとハマスの軍事衝突からも明らかなように、世界の安全保障を国家間のパワーバランスのみによって理解することはますます困難になっています。

地政学的な視点、人間の認知を標的とした情報戦の活発化など、安全保障が意味する範囲も拡大し続けています。

今回の講座では、こうした広義の安全保障について、各国の軍事戦略やこれを支える軍事思想、軍改革の歴史、諸外国との軍事的関係、サイバー・情報空間における非在来型安全保障などを多面的に取り上げます。それぞれの領域に精通するゲスト講師とともに、これからの安全保障はどうなるのかを読み解いていきます。

5・11 | 土
14:00-17:00

1 大国間競争時代の軍事戦略

安全保障を取り巻く環境は急速に変化しています。国家間の大規模戦争という古典的な脅威が続く一方で、戦い方やテクノロジーはかつてと様変わりしました。これからの安全保障環境のトレンドについて議論を展開します。

7・27 | 土
14:00-17:00

4 北朝鮮の軍事戦略・計画

北朝鮮は、世界で最も予測不可能な国と言えるでしょう。周辺国の危惧にも関わらずミサイル発射実験を繰り返し、核兵器開発でも大きな進展を遂げていると言われています。果たして北朝鮮は何を考え、どう動いているのかを論じます。

ゲスト講師 山口 亮 東京大学先端科学技術研究センター 特任助教

6・29 | 土
14:00-17:00

2 米国の軍事戦略

米中対立が激化する中で起きた、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの衝突は、米国の軍事戦略を複雑多角化したと言えます。

苦境に立つ米国が何を考えているのかを読み解きます。

ゲスト講師 村野 将 米ハドソン研究所研究員 (Japan Chair Fellow)

8・31 | 土
14:00-17:00

5 サイバー・認知領域を含む情報戦

2016年の米国大統領で見られたデジタル偽情報による社会・政治の混乱は、サイバー・認知領域が新たな安全保障の課題となったことを顕在化しました。その最先端を見聞します。

ゲスト講師 栗原 響子 公益財団法人日本国際問題研究所 研究員

7・6 | 土
14:00-17:00

3 中国の軍事戦略

習近平の独裁体制が確立した中国の権威主義が顕在化しています。軍事・経済両面で拡大を図り帝国主義の道を歩むかに見える中国の軍事戦略を考えます。

ゲスト講師 山口 信治 防衛研究所 地域研究部 中国研究室 主任研究官

9・28 | 土
14:00-17:00

6 ロシアとウクライナの軍事戦略

ウクライナ戦争は泥沼化の様相を見せています。この戦争は何故起きたのか、防ぐことはできなかったのか、日本に対する示唆は何か等々、これまでの知見を総合して掘り下げます。

講座の進め方

各回、事後に感想や講師に質問したいことを所定様式に記入し提出いただきます。感想と質問はクラス全体で共有し、さまざまな観点・経験からの感想を交わしながら学びます。

講師プロフィール

小泉 悠(こいずみ ゆう)

1982年生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修了(政治学修士)。民間企業勤務を経て、未来工学研究所特別研究員、外務省情報統括官組織専門分析員、ロシア科学アカデミー世界経済研究所客員研究員、国会図書館調査員などを歴任し、2019年より東京大学先端科学技術研究センター特任助教。2023年12月より現職。専門は安全保障論、国際関係論、ロシア・旧ソ連諸国の軍事・安全保障政策。特に軍改革、ハイブリッド戦争、核戦略、インターネット統制など。『「帝国」ロシアの地政学』でサントリー学芸賞を受賞(2019年)。

主な著書

『終わらない戦争』文藝春秋
『ウクライナ戦争』筑摩書房
『ロシア点描』PHP研究所
『現代ロシアの軍事戦略』筑摩書房

開催概要

日程	2024年 5/11、6/29、7/6、7/27、8/31、9/28 (すべて土曜日)
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	14:00-17:00(3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス／オンライン
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・世界の安全保障、軍事戦略について知見を深めたい方 ・日本の外交・安全保障政策のあり方について深く考えたい方
詳細・申込み	

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。お申し込みにあたっては下記をご確認下さい。



丸の内キャンパス

どちらも参加可能



オンライン

ハイブリッド開催

- ・丸の内キャンパスとオンラインのいずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。

オンライン参加方法

- ・オンライン会議システム Zoom を使って配信します。パソコン (またはスマートフォン、タブレット) およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoom を初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

お問い合わせ

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com

